



6月22日(土) A会場 (センター 1F 大会場) [展示ホールB]

8:10~10:10 **委員会シンポジウム 20 (精神医学研究推進委員会)**  
精神疾患レジストリの構築による新たな診断・治療法の開発へ

司会：中込 和幸 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター  
尾崎 紀夫 名古屋大学医学部付属病院

CS20-1 **精神疾患レジストリの概要について**

○中込 和幸  
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

CS20-2 **第1、2層の項目と品質管理**

○住吉 太幹  
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部

CS20-3 **精神疾患患者由来ゲノム・iPS細胞・死後脳の情報整備による大規模解析から根本的治療薬創成へ**

○尾崎 紀夫  
名古屋大学大学院医学系研究科精神医学・親と子どもの心療学分野

CS20-4 **血液・髄液生化学データの収集、標準化**

○功刀 浩<sup>1</sup>、服部 功太郎<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第三部、  
<sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センターメディカルゲノムセンターバイオリソース管理部

CS20-5 **情報通信技術を活用したデータ収集やフォローアップ方法の検討**

○岸本 泰士郎  
慶應義塾大学精神・神経科学教室

〈コーディネーター〉 中込 和幸 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

10:20~12:20 **シンポジウム 73**  
外来診療に活かす認知行動療法

司会：川崎 康弘 金沢医科大学病院  
工藤 喬 大阪大学保健センター

S73-1 **集団認知行動療法を用いた外来診療の活かし方**

○北川 信樹  
医療法人ライブフォレスト北大通こころのクリニック

S73-2 **ARMS (at-risk mental state) 研究の成果を外来診療に活かす**

○松本 和紀  
東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

S73-3 **自殺念慮のある患者に対する認知行動療法活用のコツ**

○耕野 敏樹  
岡山県精神科医療センター医局

S73-4 **薬物療法の効果を高める認知行動療法の使い方**

○菊地 俊暁  
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

S73-5

外来診療における認知療法・認知行動療法と専門医教育

○久我 弘典<sup>1</sup>、大野 裕<sup>2</sup>

<sup>1</sup>九州大学病院精神科神経科、<sup>2</sup>一般社団法人認知行動療法研修開発センター

〈コーディネーター〉 大野 裕 大野研究所



6月22日(土) B会場 (センター 1F 中会場) [展示ホールA-1]

8:10~10:10 **委員会シンポジウム 21 (アンチスティグマ委員会)**  
教育を通じて伝えたいこと・伝えるべきこと -学校保健教育への発信-

司会：水野 雅文 東邦大学医学部精神神経医学講座  
秋山 剛 NTT東日本関東病院

CS21-1 高校生におけるメンタルヘルスリテラシー

○小口 芳世  
聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

CS21-2 学校における精神保健教育 -高校生への伝え方-

○小塩 靖崇  
国立・精神神経医療研究センター精神保健研究所地域・司法精神医療研究部

CS21-3 高校生を対象としたコミュニケーション教育の実践報告

○朝日 真奈  
秋谷潮かぜ診療所

CS21-4 学校の保健教育における精神疾患について

○横嶋 剛  
スポーツ庁政策課

〈コーディネーター〉 水野 雅文 東邦大学医学部精神神経医学講座  
秋山 剛 NTT東日本関東病院

10:20~12:20 **委員会シンポジウム 23 (精神保健に関する委員会)**  
日常精神医療が自治体の自殺対策計画に貢献できること

司会：太刀川 弘和 筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学  
張 賢徳 帝京大学医学部附属溝口病院精神神経科

CS23-1 自殺対策の計画

○大塚 耕太郎<sup>1,2</sup>、小泉 範高<sup>1,2,3</sup>、赤平 美津子<sup>2,4</sup>  
<sup>1</sup>岩手医科大学神経精神科学講座、<sup>2</sup>岩手県こころのケアセンター、<sup>3</sup>岩手県精神保健福祉センター、<sup>4</sup>岩手医科大学災害・地域精神医学講座

CS23-2 自殺未遂者に対する精神科医療と地域保健福祉の連携

○辻本 哲士  
滋賀県立精神保健福祉センター

CS23-3 野田村の自殺対策計画策定：みんなでつなぐいのちを支える村づくりに向けて

○大上 有子<sup>1</sup>、田中 和弘<sup>1</sup>、上山 晃<sup>1</sup>、中村 佳津美<sup>1</sup>、北田 真理<sup>1</sup>、大塚 耕太郎<sup>2</sup>、赤平 美津子<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>野田村住民福祉課、<sup>2</sup>岩手医科大学神経精神科学講座、<sup>3</sup>岩手医科大学災害・地域精神医学講座

CS23-4 精神科医からみた地域自殺対策とは～横須賀市での経験から～

○大滝 紀宏  
湘南病院精神神経科

〈コーディネーター〉 太刀川 弘和 筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学  
張 賢徳 帝京大学医学部附属溝口病院精神神経科

13:30~15:30 シンポジウム 85

憑依再考 -DSM-5 時代の精神医療と霊のナラティブ

司会：宮岡 等 北里大学医学部精神科学  
黒木 俊秀 九州大学大学院人間環境学研究院臨床心理学講座

S85-1 リソースとしての憑依の利用「基本編」-憑き物に積極的な価値を見出すことによる裨い-

○蒲生 裕司  
こころのホスピタル町田

S85-2 バウンダリーの曖昧さと取り込み像 -映像で見る解離性同一性障害の治療-

○新谷 宏伸<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>本庄児玉病院、<sup>2</sup>USPT研究会

S85-3 リソースとしての憑依の利用「応用編」-現代社会における憑依生成と離脱

○西川 公平  
CBTセンター

S85-4 憑依の霊的治療と心理的治療

○東畑 開人<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>十文字学園女子大学、<sup>2</sup>白金高輪カウンセリングルーム

S85-5 【指定発言】

○大宮司 信  
北翔大学教育文化学部

〈コーディネーター〉 新谷 宏伸 本庄児玉病院/USPT研究会  
宮岡 等 北里大学医学部精神科学



6月22日(土) C会場 (センター 1F 中会場) [展示ホールA-2]

8:10~10:10 委員会シンポジウム 22 (PCN 編集委員会)  
脳機能の可視化から探る精神機能の動態と病態

司会：加藤 忠史 理化学研究所脳神経科学研究センター精神疾患動態研究チーム  
神庭 重信 九州大学

CS22-1 大脳神経活動状態の遷移ダイナミクスから捉える高機能自閉症

○渡部 喬光  
理化学研究所脳神経科学研究センター

CS22-2 fMRI ニューロフィードバックによる精神疾患改善効果の脳全結合関連解析

○三崎 将也、Bodurka Jerzy  
Laureate Institute for Brain Research

CS22-3 脳イメージングを用いた主観的経験の可視化と精神現象の理解

○山田 真希子  
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所脳機能イメージング研究部脳とこころの研究チーム

CS22-4 精神疾患における脳ネットワーク結合不全の理解

○森島 陽介  
ベルン大学精神科病院トランスレーショナルリサーチセンター

〈コーディネーター〉 加藤 忠史 理化学研究所脳神経科学研究センター精神疾患動態研究チーム

10:20~12:20 シンポジウム 74  
摂食障害治療の国際比較

司会：西園マーハ 文 明治学院大学心理学部  
紫藤 昌彦 紫藤クリニック精神科

S74-1 米国フィラデルフィアの摂食障害治療施設での治療とケア -Renfrew Center と Belmont Behavioral Hospital

○小笠原 知子  
東京女子医科大学東医療センター内科

S74-2 チューリッヒ大学病院摂食障害センターの入院プログラム

○齊藤 麻里子<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>尚生会湊川病院精神科、<sup>2</sup>たかみやこころのクリニック

S74-3 イギリス・モーズレー病院での摂食障害臨床の経験から

○水原 祐起<sup>1,2,3</sup>  
<sup>1</sup>京都府立こども発達支援センター診療課精神科、<sup>2</sup>京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学、  
<sup>3</sup>特定非営利活動法人SEEDきょうと

S74-4 【指定発言】

○西園マーハ 文  
明治学院大学心理学部

〈コーディネーター〉 紫藤 昌彦 紫藤クリニック精神科

13:30~15:30 **委員会シンポジウム 27 (ECT・rTMS 等検討委員会)**  
**国内におけるうつ病へのrTMS療法の現状と課題**

司会：水野 雅文 東邦大学医学部精神神経医学講座  
篠崎 和弘 公益財団法人浅香山病院

**CS27-1 本邦におけるrTMS療法の臨床応用に向けた道標**

○野田 賀大  
慶應義塾大学医学部・精神・神経科学教室

**CS27-2 rTMS療法の位置づけと有用性**

○中村 元昭<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>昭和大学発達障害医療研究所、<sup>2</sup>神奈川県立精神医療センター

**CS27-3 rTMS療法の導入と現状**

○鬼頭 伸輔  
東京慈恵会医科大学精神医学講座

**CS27-4 rTMS療法の普及と今後の課題**

○三村 將  
慶應義塾大学精神神経科学教室

〈コーディネーター〉 鬼頭 伸輔 東京慈恵会医科大学精神医学講座  
中村 元昭 昭和大学発達障害医療研究所



6月22日(土) D会場 (センター 2F 中会場) [メインホールA]

8:10~9:10

教育講演 16 (精神保健に関する委員会)

日本医師会認定産業医制度産業医学研修会対象セッション

司会：荒井 稔 東京臨海病院健康医学センター精神科

EL16

精神疾患の労災認定後の長期療養の現状と課題

○黒木 宣夫<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>勝田台メディカルクリニック、<sup>2</sup>東邦大学



9:15~10:15

教育講演 17

司会：渡部 雄一郎 新潟大学医学部精神医学教室

EL17

ゲノム医学の進展と精神科領域でのゲノム医療への展望

○岩田 仲生

藤田医科大学医学部



10:20~11:20

教育講演 18

司会：田中 究 兵庫県立ひょうごこころの医療センター

EL18

神経発達症の診断・治療の基礎と展開：青年期とそれ以後を中心に

○松本 英夫

東海大学医学部専門診療学系精神科学



11:25~12:25

教育講演 19 (利益相反委員会)

司会：稲垣 中 青山学院大学教育人間科学部/保健管理センター

EL19

利益相反と責務相反

○竹下 啓

東海大学医学部医療倫理学領域



6月22日(土) E会場 (センター 2F 中会場) [メインホールB]

8:10~10:10

シンポジウム 60

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに於ける精神科診療所の可能性

司会：上ノ山 一寛 医療法人遙山会南彦根クリニック  
鷺塚 輝久 医療法人東口メンタルクリニック

S60-1

地域包括ケアシステムの構築に向けて～地域の現場で、精神科診療所の活動を通して考えていること～

○三家 英明  
医療法人三家クリニック

S60-2

学校に馴染めない子どものためのデイケアから通信制高校を立ち上げるまで

○鷺塚 輝久  
医療法人東口メンタルクリニック

S60-3

総合病院との連携から見た精神科救急への関わり

○寺田 誠史<sup>1</sup>、窪田 幸久<sup>2</sup>、田口 博之<sup>3</sup>、岡本 典雄<sup>4</sup>、外岡 雄二<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>てらだ医院、<sup>2</sup>中央公園クリニック、<sup>3</sup>たぐちクリニック、<sup>4</sup>岡本クリニック、<sup>5</sup>富士市立中央病院

S60-4

地域医療計画に生かす精神科診療所の役割と機能

○上ノ山 一寛  
医療法人南彦根クリニック

S60-5

【指定発言】

○竹島 正  
川崎市精神保健福祉センター

〈コーディネーター〉 上ノ山 一寛 医療法人遙山会南彦根クリニック  
紫藤 昌彦 医療法人社団コスモス会紫藤クリニック

10:20~12:20

委員会シンポジウム 24 (ガイドライン検討委員会、精神医療・精神医学情報センター運営委員会)

精神医学ガイドラインの持つ意味：日本精神神経学会が果たすべき役割

司会：鹿島 晴雄 国際医療福祉大学大学院  
尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科

CS24-1

わが国の治療ガイドラインにおける諸問題と対策

○渡邊 衡一郎  
杏林大学医学部精神神経科学教室

CS24-2

統合失調症に合併する肥満・糖尿病の予防ガイド

○久住 一郎<sup>1</sup>、菅原 典夫<sup>2</sup>、鈴木 雄太郎<sup>3</sup>、古郡 規雄<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>北海道大学大学院医学研究院精神医学教室、<sup>2</sup>獨協医科大学精神神経医学講座、<sup>3</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

CS24-3

診療ガイドラインの法的考察

○鵜飼 万貴子<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>白水法律事務所、<sup>2</sup>京都府立医科大学

CS24-4

精神医学ガイドラインの持つ意味：精神医学・精神医療の実践の立場から

○中川 敦夫  
慶應義塾大学病院臨床研究推進センター教育研修部門

〈コーディネーター〉 鹿島 晴雄 国際医療福祉大学大学院  
尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科



6月22日(土) F会場 (センター 2F 小会場) [中会議室201]

8:10~10:10

シンポジウム 61

神経症圏治療における治療導入、摂食障害を例として：どこまで医療化(外在化)し、いかに本格治療に導入するのか

司会：宮岡 等 北里大学医学部精神科学  
山下 達久 からすま五条やましたクリニック

S61-1 大学病院精神科を重症摂食障害患者が受診した場合：兵庫医科大学での対応

○山田 恒<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>兵庫医科大学病院、<sup>2</sup>山田メンタルクリニック

S61-2 精神科病床を有する総合病院における摂食障害の治療

○横山 伸

長野赤十字病院精神科

S61-3 摂食障害の治療導入：一般病床を有する大学病院心療内科を受診した場合

○高倉 修<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>九州大学病院心療内科、<sup>2</sup>福岡県摂食障害治療支援センター

S61-4 神経性やせ症における「自由への恐怖」に焦点づけた任意入院による治療

○崔 炯仁

稲門会いわくら病院精神科

S61-5 精神科診療所を受診した場合、摂食障害治療での医療化の必要性和境界

○永田 利彦

壺燈会なんば・ながたメンタルクリニック

〈コーディネーター〉 永田 利彦 医) 壺燈会なんば・ながたメンタルクリニック  
宮岡 等 北里大学医学部精神科学

10:20~12:20 委員会シンポジウム 25 (医療倫理委員会)

精神科臨床倫理の在り処その6 (医療倫理と安全 (責任) の葛藤)

司会：水野 雅文 東邦大学医学部精神神経医学講座  
森村 安史 仁明会精神衛生研究所

CS25-1 精神科治療におけるジレンマを乗り越える臨床「知」

○白石 弘巳

埼玉県済生会鴻巣病院

CS25-2 誰のための身体拘束か？～高齢認知症患者における身体拘束の倫理的ジレンマ～

○山口 大樹

東邦大学医学部精神神経医学講座

CS25-3 事故防止を優先した安全な対応の提供

○高宮 真樹

日本精神科病院協会常務理事 (医療安全委員会担当)

CS25-4 高齢認知症患者に対する身体拘束における法的検討課題

○島戸 圭輔

東京弁護士会

〈コーディネーター〉 水野 雅文 東邦大学医学部精神神経医学講座

13:00~14:00 **一般演題（口演）51**  
**依存・行動嗜癖4**

司会：鈴木 昭仁 山形大学

- 3-051-1 **「公営競技ギャンブル依存症カウンセリングセンター」の最初の一年間の活動実績調査報告**  
○廣山 祐仁<sup>1</sup>、岡部 忠司<sup>2</sup>、長船 直子<sup>2</sup>、加藤 清香<sup>2</sup>、日比野 由紀<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京海上日動メディカルサービス（株）第一医療部、<sup>2</sup>東京海上日動メディカルサービス（株）EAP室
- 3-051-2 **男性アルコール依存症患者の骨密度低下に関する横断的研究**  
○蓬萊 政<sup>1</sup>、菱本 明豊<sup>1</sup>、大塚 郁夫<sup>1</sup>、新名 尚史<sup>1</sup>、岡崎 賢志<sup>1</sup>、毛利 健太郎<sup>2</sup>、朴 秀賢<sup>1</sup>、  
曾良 一郎<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>神戸大学大学院医学研究科精神医学分野、<sup>2</sup>神戸大学保健管理センター
- 3-051-3 **精神科急性期病棟における薬物依存症治療プログラム FARPP の介入結果報告（途中報告）**  
○船田 大輔  
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
- 3-051-4 **開放病棟における自己瀉血患者への入院治療の一症例**  
○黒澤 文貴  
神奈川県立精神医療センター依存症診療科
- 3-051-5 **当院における依存症集団療法 SMARPP の実施状況と課題 第2報**  
○植原 亮介、栗山 政士、谷田 遥香、橘高 昭子、細野 清彦、川本 喜子、宮野 栄三  
医療法人平和会吉田病院精神科



6月22日(土) G会場 (センター 3F 小会場) [中会議室301B]

8:10~10:10

シンポジウム 62

難治性トゥレット症の現状及び脳深部刺激療法に関する検討

司会：金生 由紀子 東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野  
岡田 俊 名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科

S62-1 難治性トゥレット症患者の実態：臨床症状と生活の困難

○金生 由紀子  
東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野

S62-2 難治性トゥレット症に対する併存症も含めた治療

○岡田 俊  
名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科

S62-3 トレット症候群の重度難治性チックに対する脳深部刺激療法

○開道 貴信<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>大阪樟蔭女子大学健康栄養学部健康栄養学科解剖生理学研究室、<sup>2</sup>国立病院機構奈良医療センター

S62-4 難治性トゥレット症候群に伴う重度チックに対する脳深部刺激療法の長期的転帰

○木村 唯子<sup>1</sup>、開道 貴信<sup>2</sup>、大森 まゆ<sup>3</sup>、金生 由紀子<sup>4</sup>、岩崎 真樹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立精神神経医療研究センター病院脳神経外科、<sup>2</sup>大阪松蔭女子大学健康栄養学部、  
<sup>3</sup>国立精神神経医療研究センター病院精神科、<sup>4</sup>東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野

S62-5 【指定発言】

○大森 まゆ  
国立精神・神経医療研究開発センター精神科

〈コーディネーター〉 金生 由紀子 東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野  
岡田 俊 名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科

10:20~12:20

委員会シンポジウム 26 (心理技術職に関する委員会)

公認心理師との協働と『医師の指示』

司会：松田 ひろし 医療法人立川メディカルセンター柏崎厚生病院  
中嶋 義文 社会福祉法人三井記念病院

CS26-1 「協働」と「医師の指示」を巡る公認心理師と精神科医の課題

○佐藤 忠彦  
桜ヶ丘記念病院精神科

CS26-2 公認心理師教育において「医師の指示」をいかに教えるか

○黒木 俊秀  
九州大学大学院人間環境学研究院臨床心理学講座

CS26-3 一般医療領域（総合病院）の立場から

○西村 勝治  
東京女子医科大学病院

CS26-4 開業心理士の立場から -公認心理師との協働と『医師の指示』

○伊藤 絵美  
洗足ストレスコーピング・サポートオフィス

CS26-5

〔指定発言〕

○幸田 るみ子  
静岡大学人文社会科学部

〈コーディネーター〉 中嶋 義文 社会福祉法人三井記念病院  
佐藤 忠彦 社会福祉法人桜ヶ丘社会事業協会桜ヶ丘記念病院

13:30~14:30 一般演題（口演）52  
依存・その他

司会：鷺塚 伸介 信州大学医学部精神医学教室

3-052-1 ギャンブル障害患者の男女差：生育歴上の特徴

○小林 桜児、黒澤 文貴、吉松 尚彦、福生 泰久、西村 康平、板橋 登子  
神奈川県立精神医療センター精神科

3-052-2 物質使用障害患者 821 例における自傷・自殺企図 -成育歴上のリスク要因について

○小林 桜児、板橋 登子、黒澤 文貴、吉松 尚彦、福生 泰久、西村 康平  
神奈川県立精神医療センター精神科

3-052-3 統合失調症認知機能簡易評価尺度日本語版(BACS-J)を用いた、アルコール依存症患者の認知機能の評価

○栗原 雄大<sup>1</sup>、前上里 泰史<sup>2</sup>、新城 架乃<sup>2</sup>、石橋 孝勇<sup>1,2</sup>、新里 輔鷹<sup>1</sup>、甲田 宗良<sup>1</sup>、中井 美紀<sup>2</sup>、大鶴 卓<sup>2</sup>、近藤 毅<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>琉球大学医学部附属病院精神科神経科、<sup>2</sup>独立行政法人国立病院機構琉球病院

14:30~15:30 一般演題（口演）55  
精神保健福祉 1

司会：高橋 一志 東京女子医科大学精神医学教室

3-055-1 東日本大震災が沿岸地域の就労と精神的健康に及ぼした影響

○片柳 光昭<sup>1</sup>、富田 博秋<sup>2,5</sup>、瀬戸 萌<sup>1,2</sup>、根本 晴美<sup>2</sup>、奥山 純子<sup>2</sup>、鈴木 智美<sup>2,3</sup>、菅原 由美<sup>4</sup>、中谷 直樹<sup>5</sup>、中村 智洋<sup>5</sup>、土屋 菜歩<sup>5</sup>、成田 暁<sup>5</sup>、小暮 真奈<sup>5</sup>、小高 晃<sup>1</sup>、辻 一郎<sup>4,5</sup>、寶澤 篤<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>みやぎ心のケアセンター、<sup>2</sup>東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野、<sup>3</sup>七ヶ浜役場健康増進課、<sup>4</sup>東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野、<sup>5</sup>東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門

3-055-2 周産期メンタルヘルスの取り組み その 1 大学病院から

○山下 洋<sup>1</sup>、山根 謙一<sup>1</sup>、鈴宮 寛子<sup>2</sup>、吉田 敬子<sup>1,2</sup>、鈴木 俊治<sup>3,6</sup>、相良 洋子<sup>3,5</sup>、関沢 明彦<sup>3,4</sup>  
<sup>1</sup>九州大学病院子どものこころの診療部、<sup>2</sup>医療法人風のすずらん会メンタルクリニックあいらす、<sup>3</sup>日本産婦人科医会、<sup>4</sup>昭和大学医学部産婦人科学講座、<sup>5</sup>さがらレディースクリニック、<sup>6</sup>葛飾赤十字病院産婦人科

3-055-3 周産期メンタルヘルスの取り組み その 2~精神科クリニックからみた課題~

○吉田 敬子<sup>1</sup>、鈴宮 寛子<sup>1</sup>、山根 謙一<sup>2</sup>、山下 洋<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>医療法人風のすずらん会メンタルクリニックあいらす、<sup>2</sup>九州大学病院子どものこころの診療部

3-055-4 周産期メンタルヘルスの取り組み その 3~地域行政機関等との連携~

○鈴宮 寛子、吉田 敬子  
医療法人風のすずらん会メンタルクリニックあいらす



3-055-5

### 精神保健福祉法第26条に基づく矯正施設長通報の現状把握に関する研究(その1)通報・事前調査について

○瀬戸 秀文<sup>1</sup>、藤井 千代<sup>2</sup>、稲垣 中<sup>3</sup>、太田 順一郎<sup>4</sup>、島田 達洋<sup>5</sup>、大塚 達以<sup>6</sup>、小口 芳世<sup>7</sup>、  
岩永 英之<sup>8</sup>、椎名 明大<sup>9</sup>、平林 直次<sup>2</sup>、中西 清晃<sup>2</sup>、中村 仁<sup>1</sup>、吉住 昭<sup>8,10</sup>

<sup>1</sup>長崎県精神医療センター精神科、<sup>2</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、<sup>3</sup>青山学院大学、  
<sup>4</sup>岡山市こころの健康センター、<sup>5</sup>栃木県立岡本台病院、<sup>6</sup>宮城県立精神医療センター、<sup>7</sup>聖マリアンナ医科大学、  
<sup>8</sup>独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター、<sup>9</sup>千葉大学社会精神保健教育研究センター、  
<sup>10</sup>医療法人翠会八幡厚生病院

3-055-6

### 精神保健福祉法第26条に基づく矯正施設長通報の現状把握に関する研究(その2)指定医診察要否判断について

○瀬戸 秀文<sup>1</sup>、藤井 千代<sup>2</sup>、稲垣 中<sup>3</sup>、太田 順一郎<sup>4</sup>、島田 達洋<sup>5</sup>、大塚 達以<sup>6</sup>、小口 芳世<sup>7</sup>、  
岩永 英之<sup>8</sup>、椎名 明大<sup>9</sup>、平林 直次<sup>2</sup>、中西 清晃<sup>2</sup>、中村 仁<sup>1</sup>、吉住 昭<sup>8,10</sup>

<sup>1</sup>長崎県精神医療センター精神科、<sup>2</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、<sup>3</sup>青山学院大学、  
<sup>4</sup>岡山市こころの健康センター、<sup>5</sup>栃木県立岡本台病院、<sup>6</sup>宮城県立精神医療センター、<sup>7</sup>聖マリアンナ医科大学、  
<sup>8</sup>独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター、<sup>9</sup>千葉大学社会精神保健教育研究センター、  
<sup>10</sup>医療法人翠会八幡厚生病院

3-055-7

### 精神保健福祉法第26条に基づく矯正施設長通報の現状把握に関する研究(その3)指定医診察例について

○瀬戸 秀文<sup>1</sup>、藤井 千代<sup>2</sup>、稲垣 中<sup>3</sup>、太田 順一郎<sup>4</sup>、島田 達洋<sup>5</sup>、大塚 達以<sup>6</sup>、小口 芳世<sup>7</sup>、  
岩永 英之<sup>8</sup>、椎名 明大<sup>9</sup>、平林 直次<sup>2</sup>、中西 清晃<sup>2</sup>、中村 仁<sup>1</sup>、吉住 昭<sup>8,10</sup>

<sup>1</sup>長崎県精神医療センター精神科、<sup>2</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、<sup>3</sup>青山学院大学、  
<sup>4</sup>岡山市こころの健康センター、<sup>5</sup>栃木県立岡本台病院、<sup>6</sup>宮城県立精神医療センター、<sup>7</sup>聖マリアンナ医科大学、  
<sup>8</sup>独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター、<sup>9</sup>千葉大学社会精神保健教育研究センター、  
<sup>10</sup>医療法人翠会八幡厚生病院

6月22日(土) H会場 (センター 3F 小会場) [中会議室301A]

8:10~10:10

シンポジウム 63

せん妄の新たな予防方略とその実効性を高める発症予測の研究展開

司会：八田 耕太郎 順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック  
西村 勝治 東京女子医科大学神経精神科

S63-1 せん妄の新たな予防方略の展開とそのエビデンス

○八田 耕太郎<sup>1</sup>、橋本 直子<sup>2</sup>、須田 潔子<sup>3</sup>、平 俊浩<sup>4</sup>、和田 健<sup>5</sup>、内村 直尚<sup>6</sup>、岸 泰宏<sup>7</sup>、竹内 崇<sup>8</sup>、土田 和生<sup>9</sup>、臼井 千恵<sup>1</sup>、秋月 伸哉<sup>3</sup>、西尾 優子<sup>3</sup>、中西 幸子<sup>3</sup>、倉田 明子<sup>10</sup>、堀川 直希<sup>6</sup>、江口 寛<sup>7</sup>、伊藤 滋朗<sup>7</sup>、武藤 仁志<sup>8</sup>、大森 隆史<sup>2</sup>

<sup>1</sup>順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック、<sup>2</sup>徳島県立中央病院、<sup>3</sup>東京都立駒込病院、<sup>4</sup>福山市民病院、<sup>5</sup>広島市立広島市民病院精神科、<sup>6</sup>久留米大学病院精神神経科、<sup>7</sup>日本医科大学武蔵小杉病院、<sup>8</sup>東京医科歯科大学医学部附属病院、<sup>9</sup>公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院、<sup>10</sup>広島大学病院

S63-2 予防方略の実効性を高める発症予測：せん妄のリスク因子から

○小川 朝生  
国立がん研究センター東病院先端医療開発センター精神腫瘍学開発分野

S63-3 ポータブル Bispectral EEG によるせん妄のスクリーニングと患者予後予測

○篠崎 元  
University of Iowa Department of Psychiatry

S63-4 予防方略の実効性を高める発症予測 -生化学的マーカーから

○西村 勝治  
東京女子医科大学病院

〈コーディネーター〉 八田 耕太郎 順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック  
岸 泰宏 日本医科大学武蔵小杉病院

10:20~12:20

シンポジウム 75

児童虐待対応における地域精神保健・医療の役割

司会：中山 浩 川崎市こども家庭センター  
森 昭憲 富山県リハビリテーション病院

S75-1 児童虐待対応と地域精神保健・医療の役割の現状と課題

○中山 浩  
川崎市こども家庭センター

S75-2 一般精神科医の役割

○大塚 俊弘  
川崎市こども未来局児童家庭支援・虐待対策室

S75-3 小児総合病院における児童虐待対応 -神奈川県立こども医療センターの場合-

○新井 卓  
地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立こども医療センター

S75-4 児童相談所を経験し、思春期病棟で働く児童精神科医から

○堀 未来  
愛知県精神医療センター

〈コーディネーター〉 中山 浩 川崎市こども家庭センター



13:30~14:30 **一般演題（口演）53**  
社会・司法精神医学

司会：村上 優 独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター

3-053-1 **一精神科クリニック初診患者の約4割がひきこもり経験者だった：ひきこもり（現在・過去）患者の割合と特徴**

○今井 必生<sup>1</sup>、高松 桃子<sup>3</sup>、三家 英明<sup>3</sup>、吉澤 一<sup>3</sup>、三家 英彦<sup>3</sup>、浜中 利保<sup>3</sup>、岡崎 剛<sup>3</sup>、  
中村 理香<sup>3</sup>、古川 壽亮<sup>2</sup>

<sup>1</sup>大橋クリニック医局、<sup>2</sup>京都大学医学研究科・社会健康医学専攻健康増進・行動学分野、<sup>3</sup>医療法人三家クリニック

3-053-2 **医療観察法データベースの構築 -医療の向上に資する基盤づくりと活用-**

○河野 稔明<sup>1,2</sup>、竹田 康二<sup>2</sup>、山田 悠至<sup>2</sup>、小池 純子<sup>1</sup>、藤井 千代<sup>1</sup>、平林 直次<sup>2</sup>

<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、<sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター病院

3-053-3 **拘置所入所者における向精神薬の服用率、および罪名との関連**

○西尾 彰泰、堀田 亮、山本 真由美

岐阜大学保健管理センター

3-053-4 **医療観察法鑑定：入院処遇の判断が多いのは何故か？ -20例の演者鑑定例からその理由を考察する-**

○田野島 隆、佐藤 由佳、樋口 由利枝、後藤 愛代、美濃又 左千夫、菅原 規晃、葛西 典男、  
有田 矩明

社会医療法人共栄会札幌トロイカ病院医局

14:30~15:30 **一般演題（口演）56**  
精神保健福祉・その他

司会：松本 和紀 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

3-056-1 **ひきこもり外来の地域社会への展開**

○中垣内 正和<sup>1</sup>、桑原 秀樹<sup>1,2</sup>、河合 純<sup>1</sup>

<sup>1</sup>ながおか心のクリニック医局、<sup>2</sup>医療法人社団総文会クリニック足立

3-056-2 **総合病院における精神科作業療法の効果**

○嘉部 匡朗<sup>1,4</sup>、富岡 大<sup>2</sup>、大野 実里<sup>1</sup>、藤野 尚子<sup>1</sup>、青木 いづみ<sup>1</sup>、小金丸 泰史<sup>2</sup>、白井 将博<sup>2</sup>、  
太田 佐保子<sup>2</sup>、瀬戸 詩織<sup>2</sup>、坂内 めぐみ<sup>3</sup>、佐藤 啓<sup>3</sup>、稲本 淳子<sup>2</sup>

<sup>1</sup>昭和大学横浜市北部病院リハビリテーション室、<sup>2</sup>昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター、

<sup>3</sup>昭和大学横浜市北部病院看護部、<sup>4</sup>昭和大学保健医療学部作業療法学科

3-056-3 **地域精神保健医療の共創戦略の開発**

○竹島 正<sup>1,3</sup>、高橋 邦彦<sup>2</sup>、白杵 理人<sup>3</sup>、笹井 康典<sup>4</sup>、辻本 哲士<sup>5</sup>、竹之内 薫<sup>6</sup>、山田 正夫<sup>7</sup>、  
白川 教人<sup>8</sup>、宍倉 久里江<sup>9</sup>、立森 久照<sup>3</sup>、山之内 芳雄<sup>3</sup>

<sup>1</sup>川崎市精神保健福祉センター、<sup>2</sup>名古屋大学大学院医学系研究科、

<sup>3</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、<sup>4</sup>大阪府こころの健康総合センター、

<sup>5</sup>滋賀県精神保健福祉センター、<sup>6</sup>鹿児島県精神保健福祉センター、<sup>7</sup>神奈川県精神保健福祉センター、

<sup>8</sup>横浜市こころの健康相談センター、<sup>9</sup>相模原市精神保健福祉センター

3-056-4 **回避・制限性食物摂取症とみなされていたがグルテン関連障害を疑った一例**

○佐藤 由英<sup>1</sup>、佐々木 はづき<sup>1</sup>、篠崎 将貴<sup>1</sup>、岡安 寛明<sup>1</sup>、椎木 麻姫子<sup>2</sup>、志水 太郎<sup>2</sup>、下田 和孝<sup>1</sup>

<sup>1</sup>獨協医科大学病院精神神経科、<sup>2</sup>獨協医科大学病院総合診療医学講座

3-056-5 **拒否が著しく入院後、治療導入に難渋した神経性やせ症女子中学生：症例報告**

○石橋 知明、福岡 彩加、大森 一郎、上野 幹二、小坂 浩隆

福井大学医学部附属病院

6月22日(土) |会場 (センター 3F 小会場) [中会議室302B]

8:10~10:10

**シンポジウム 64**

今、マインドフルネスを考える

司会：北西 憲二 北西クリニック/森田療法研究所  
黒木 俊秀 九州大学大学院人間環境学研究院

S64-1 **マインドフルネスは、なぜ精神症状に効果を発揮するのか？**

○佐渡 充洋  
慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

S64-2 **アクセプタンス&コミットメント・セラピーにおける無我の概念**

○熊野 宏昭  
早稲田大学人間科学学術院

S64-3 **森田療法と弁証法的行動療法 (DBT) での若年患者の治療～身体技法とマインドフルネス～**

○竹田 康彦  
福岡心身クリニック精神科

S64-4 **森田療法におけるマインドフルネス**

○新村 秀人  
慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

〈コーディネーター〉 新村 秀人 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室  
北西 憲二 北西クリニック/森田療法研究所

10:20~12:20

**シンポジウム 76**

発達障害とてんかん：各診療科の立場から

司会：曾根 大地 University College London Institute of Neurology  
谷口 豪 東京大学医学部附属病院

S76-1 **発達障害とてんかん：成人てんかん科の立場から**

○曾根 大地  
University College London Institute of Neurology

S76-2 **発達障害とてんかん -成人発達専門外来診療医の立場から-**

○中岡 健太郎  
愛知県精神医療センター精神科

S76-3 **てんかんの外科治療と認知発達機能への影響**

○岩崎 真樹<sup>1</sup>、齋藤 貴志<sup>2</sup>、住友 典子<sup>2</sup>、飯島 圭哉<sup>1</sup>、高山 裕太郎<sup>1</sup>、村岡 範裕<sup>1</sup>、木村 唯子<sup>1</sup>、金子 裕<sup>1</sup>、中川 栄二<sup>2</sup>

<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科、<sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科

S76-4 **神経発達症と小児てんかん**

○中川 栄二  
国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科

〈コーディネーター〉 曾根 大地 University College London Institute of Neurology  
金生 由紀子 東京大学医学部附属病院  
谷口 豪 東京大学医学部附属病院



13:30~14:30 一般演題 (口演) 54  
神経心理

司会：富岡 大 昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター

3-054-1 統合失調症の社会認知機能の包括的検査バッテリー ABCD の成績と社会機能との関連

○丹羽 真一<sup>1</sup>、國井 泰人<sup>1</sup>、星野 大<sup>2</sup>

<sup>1</sup>福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座、<sup>2</sup>福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

3-054-2 重度認知症患者は扉を開けることができるか：アルツハイマー病と前頭側頭型認知症における検討

○和泉 美和子<sup>1</sup>、丸山 志織<sup>1</sup>、田中 政春<sup>2</sup>、今村 徹<sup>3</sup>

<sup>1</sup>特定医療法人楽山会三島病院神経心理科、<sup>2</sup>特定医療法人楽山会三島病院精神科、<sup>3</sup>新潟医療福祉大学大学院医療福祉学研究科保健学専攻言語聴覚学分野

3-054-3 失読失書をともなう症例への長期認知リハビリテーション

○穴水 幸子<sup>1</sup>、仁井田 りち<sup>2</sup>、田淵 肇<sup>2</sup>、斎藤 文恵<sup>2</sup>、富永 真紀子<sup>3</sup>、三村 将<sup>2</sup>

<sup>1</sup>国際医療福祉大学赤坂心理・医療福祉マネジメント学部心理学科、<sup>2</sup>慶應義塾大学医学部精神神経科学教室、<sup>3</sup>東京リハビリテーション訪問看護ステーション中野

3-054-4 第四世代の認知行動療法・けやき療法が有効だった 1 例

○稲田 良宜、稲田 信子

駅前神経内科メンタルヘルス研究所

3-054-5 「人格水準の低下」と「人格」の問題 -Frankl の人間観から-

○杉岡 良彦

一般財団法人信貴山病院分院上野病院

14:30~15:30 一般演題 (口演) 57  
神経薬理・その他

司会：西村 勝治 東京女子医科大学医学部精神医学講座

3-057-1 Venlafaxine および O-desmethylvenlafaxine の鏡像異性体の薬物動態学的解析

○佐々木 太郎<sup>1</sup>、渡邊 崇<sup>1,3</sup>、井上 義政<sup>1</sup>、佐々木 はづき<sup>1</sup>、篠崎 将貴<sup>1</sup>、青木 顕子<sup>1</sup>、林 有希<sup>1</sup>、加藤 和子<sup>3</sup>、黒田 仁一<sup>2</sup>、古郡 規雄<sup>1</sup>、下田 和孝<sup>1</sup>

<sup>1</sup>獨協医科大学病院精神神経医学講座、<sup>2</sup>栃木県立岡本台病院、<sup>3</sup>さくら・ら心療内科

3-057-2 日本人における venlafaxine と活性代謝産物の薬物動態学的解析

○佐々木 はづき<sup>1</sup>、渡邊 崇<sup>1,3</sup>、井上 義政<sup>1</sup>、佐々木 太郎<sup>1</sup>、篠崎 将貴<sup>1</sup>、青木 顕子<sup>1</sup>、林 有希<sup>1</sup>、加藤 和子<sup>3</sup>、黒田 仁一<sup>2</sup>、古郡 規雄<sup>1</sup>、下田 和孝<sup>1</sup>

<sup>1</sup>獨協医科大学精神神経医学講座、<sup>2</sup>栃木県立岡本台病院、<sup>3</sup>さくら・ら心療内科

3-057-3 自閉スペクトラム症の特性を伴う思春期境界性パーソナリティ障害の一例

○高橋 有記、大西 雄一、三上 克央、山本 賢司、松本 英夫

東海大学医学部付属病院精神科

3-057-4 境界例との終わりなき権力闘争に巻き込まれてはならない

○深尾 琢

岐阜大学大学院医学系研究科精神病理学分野

6月22日(土) J会場 (センター 3F 小会場) [中会議室302A]

8:10~10:10

シンポジウム 65

「共同意思決定」を生む対話についての検討～患者の権利、意思とはなにか～

司会：伊藤 順一郎 メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ  
福井 里江 東京学芸大学教育心理学講座

S65-1 「意思決定支援」から「欲望形成支援」へ

○斎藤 環  
筑波大学社会精神保健学

S65-2 ホームレス支援の現場における支援付き意思決定 -歴史の共有と選択肢・情報・経験の保障-

○熊倉 陽介  
東京大学医学部大学院医学系研究科精神保健学分野

S65-3 当事者・家族が最も求めるのは、想像力と尊敬です！

○夏莉 郁子  
やきつべの径診療所

S65-4 当事者と医師、地域住民が共同する精神科医療への提言～日本の精神保健福祉へのピアサポートの可能性～

○松谷 光太郎  
武蔵野大学大学院

S65-5 共同意思決定を支援するコンピュータシステム SHARE 開発：その効果と今後への期待

○伊藤 順一郎<sup>1</sup>、福井 里江<sup>2</sup>、松谷 光太郎<sup>3</sup>、山口 創生<sup>4</sup>、藤田 英親<sup>5</sup>、種田 綾乃<sup>6</sup>、板垣 貴志<sup>7</sup>  
<sup>1</sup>メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ、<sup>2</sup>東京学芸大学教育心理学講座、<sup>3</sup>武蔵野大学大学院、  
<sup>4</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、<sup>5</sup>国分寺すずかけ心療クリニック、  
<sup>6</sup>神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部、<sup>7</sup>株式会社アクセライト

〈コーディネーター〉 伊藤 順一郎 メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ  
福井 里江 東京学芸大学教育心理学講座

10:20~12:20

シンポジウム 77

急性精神病の最近の状況

司会：坂元 薫 赤坂クリニック  
阿部 隆明 自治医科大学附属病院

S77-1 スーパー救急病棟における急性精神病の背景・治療と非定型精神病診断の有用性

○山田 浩樹  
昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター

S77-2 急性精神病に対する m-ECT の役割～適応と効能を再考する～

○平林 万紀彦、中山 和彦  
八千代病院精神科

S77-3 非定型精神病の病態の変遷と長期的転帰～当院における直近 10 年間 56 症例の検討と考察～

○渡辺 憲  
社会医療法人明和会医療福祉センター渡辺病院精神科

S77-4 急性精神病の現状

○金沢 徹文  
大阪医科大学神経精神医学教室



S77-5

〔指定発言〕

○中山 和彦  
八千代病院

〈コーディネーター〉 須賀 英道 龍谷大学短期大学部

13:30~15:30

シンポジウム 86

摂食障害の心理教育に役立つコンテンツ -ミニマル・エッセンシャルズ

司会：井上 幸紀 大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学  
岡本 百合 広島大学保健管理センター

S86-1

神経性やせ症の身体的合併症

○鈴木 眞理  
政策研究大学院大学保健管理センター

S86-2

摂食障害の栄養療法

○河合 啓介  
国立国際医療研究センター国府台病院心療内科

S86-3

摂食障害の心理社会的問題

○西園マーハ 文  
明治学院大学心理学部

〈コーディネーター〉 鈴木 眞理 政策研究大学院大学保健管理センター

6月22日(土) K会場 (センター 3F 中会場) [小会議室303+304]

8:10~10:10 シンポジウム 66  
精神科医は強度行動障害に何が出来るか？

司会：市川 宏伸 日本発達障害ネットワーク  
會田 千重 独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

S66-1 精神科医は強度行動障害に何が出来るか？

○市川 宏伸  
日本発達障害ネットワーク

S66-2 精神科医が強度行動障害にできることを「行動」の視点から考える

○會田 千重  
独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

S66-3 発達障害・強度行動障害の現状と課題～精神科医の立場から～

○田淵 賀裕<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>関東医療少年院、<sup>2</sup>医療法人社団翠会成増厚生病院

S66-4 精神科医が出来ること～福祉施設における役割～

○田中 恭子  
独立行政法人国立病院機構菊池病院

S66-5 【指定発言】

○川崎 葉子  
むさしの小児発達クリニック

S66-6 【指定発言】

○井上 雅彦  
鳥取大学医学部

〈コーディネーター〉 市川 宏伸 日本発達障害ネットワーク  
會田 千重 独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

10:20~12:20 シンポジウム 78  
わが国における大規模処方調査“MUSUBI-J”から分かる双極性障害治療のあるべき姿

司会：加藤 正樹 関西医科大学精神神経科  
勝元 榮一 かつもとメンタルクリニック

S78-1 双極性障害の非寛解と関連する因子について見出した MUSUBI 1次調査および 1.5次調査からの知見

○坪井 貴嗣  
杏林大学医学部付属病院精神神経科学教室

S78-2 情動安定剤と抗精神病薬および抗うつ薬の組み合わせから見た各薬物の特徴

○古郡 規雄<sup>1</sup>、吉村 玲児<sup>2</sup>、加藤 正樹<sup>3</sup>、中川 敦夫<sup>4</sup>、菊地 俊暁<sup>4</sup>、坪井 貴嗣<sup>5,6</sup>、足立 直人<sup>6</sup>、窪田 幸久<sup>6</sup>、阿瀬川 孝治<sup>6</sup>、上田 均<sup>6</sup>、枝川 浩二<sup>6</sup>、勝元 榮一<sup>6</sup>、後藤 英一郎<sup>6</sup>、本郷 誠司<sup>6</sup>、渡邊 衡一郎<sup>5</sup>

<sup>1</sup>獨協医科大学精神神経医学講座、<sup>2</sup>産業医科大学病院、<sup>3</sup>関西医科大学精神神経科学講座、<sup>4</sup>慶應義塾大学病院、<sup>5</sup>杏林大学医学部付属病院、<sup>6</sup>日本精神神経科診療所協会



S78-3 MUSUBI 研究 1.5 次調査 (2017) の概要

○足立 直人<sup>1,2</sup>、上田 均<sup>2</sup>、本郷 誠司<sup>2</sup>、阿瀬川 孝治<sup>2</sup>、三木 和平<sup>2</sup>、窪田 幸久<sup>2</sup>、勝元 榮一<sup>2</sup>、  
渡辺 洋一郎<sup>2</sup>、枝川 浩二<sup>2</sup>、後藤 英一郎<sup>2</sup>、古郡 規雄<sup>3</sup>、菊地 俊暁<sup>3</sup>、中川 敦夫<sup>3</sup>、坪井 貴嗣<sup>3</sup>、  
渡邊 衡一郎<sup>3</sup>、加藤 正樹<sup>3</sup>、吉村 玲児<sup>3</sup>

<sup>1</sup>武蔵屋足立医院、<sup>2</sup>日本精神神経科診療所協会、<sup>3</sup>日本臨床精神神経薬理学会

S78-4 精神科診療所における双極性障害治療の実際と MUSUBI に期待すること

○阿瀬川 孝治<sup>1,2</sup>、足立 直人<sup>2</sup>、上田 均<sup>2</sup>、本郷 誠司<sup>2</sup>、三木 和平<sup>2</sup>、窪田 幸久<sup>2</sup>、勝元 榮一<sup>2</sup>、  
渡辺 洋一郎<sup>2</sup>、枝川 浩二<sup>2</sup>、後藤 英一郎<sup>2</sup>、古郡 規雄<sup>3</sup>、菊地 俊暁<sup>3</sup>、中川 敦夫<sup>3</sup>、坪井 貴嗣<sup>3</sup>、  
渡邊 衡一郎<sup>3</sup>、加藤 正樹<sup>3</sup>、吉村 玲児<sup>3</sup>

<sup>1</sup>医療法人三精会汐入メンタルクリニック、<sup>2</sup>日本精神神経科診療所協会、<sup>3</sup>日本臨床精神神経薬理学会

S78-5 長期間状態継続群と Rapid Cycle 群の背景や投薬内容の特徴から見えてくるものは？ MUSUBI 研究より

○加藤 正樹  
関西医科大学精神神経科学講座

〈コーディネーター〉 渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室  
古郡 規雄 獨協医科大学精神神経医学講座

13:30~15:30 シンポジウム 87

腸内細菌叢-腸管-脳軸：発達早期における精神活動と行動への影響

司会：三上 克央 東海大学医学部専門診療学系精神科学  
須藤 信行 九州大学大学院医学研究院心身医学

S87-1 腸内細菌と脳腸相関

○須藤 信行  
九州大学大学院医学研究院心身医学

S87-2 生来の常在細菌がマウスの情動行動の成長に与える影響

○西野 良  
新潟大学医歯学総合病院臨床研究推進センター

S87-3 腸内細菌叢による発達早期の精神活動と行動への影響

○三上 克央  
東海大学医学部専門診療学系精神科学

S87-4 母と子を結ぶ周産期母体腸内細菌と児の脳発達 -動物モデルを用いた研究成果から

○析谷 史郎<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>鈴鹿医療科学大学保健衛生学部、<sup>2</sup>福井大学子どものこころの発達研究センター

〈コーディネーター〉 三上 克央 東海大学医学部専門診療学系精神科学

6月22日(土) L会場(センター 3F 中会場) [小会議室306+307]

8:10~10:10 **シンポジウム 67**  
ミクログリアは精神疾患の成り立ちにどのように関与するのか？

司会：門司 晃 佐賀大学医学部精神医学講座

S67-1 うつ病と認知症の共通病態としての神経炎症 -ミクログリアの役割は？-

○溝口 義人  
佐賀大学医学部精神医学

S67-2 ミクログリアと心：脳内免疫細胞が心理社会的活動とその破綻に関わる可能性

○加藤 隆弘  
九州大学大学院医学研究院精神病態医学

S67-3 ミクログリアの新規生理機能とその破綻による精神疾患の可能性

○和氣 弘明  
神戸大学大学院医学研究科

S67-4 心理社会的ストレスによる慢性疼痛の変調：ミクログリアの関与

○齊藤 秀俊、津田 誠  
九州大学大学院薬学研究院ライフィノベーション分野

〈コーディネーター〉 門司 晃 佐賀大学医学部精神医学講座

10:20~12:20 **シンポジウム 79**  
当事者研究・オープンダイアログ・ACT -現在の地点と将来：その協働が日本の精神保健福祉にもたらすもの

司会：池淵 恵美 帝京平成大学大学院臨床心理学研究科  
石原 孝二 東京大学大学院総合文化研究科

S79-1 当事者研究の可能性

○向谷地 生良  
北海道医療大学看護福祉学部

S79-2 当事者研究と共同創造

○熊谷 晋一郎  
東京大学先端科学技術研究センター

S79-3 倫理的であることの治療的意義

○斎藤 環  
筑波大学社会精神保健学

S79-4 ACT 実践に対話的文化をはぐくむことで見えてきたこと

○伊藤 順一郎  
メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ

S79-5 日本における ACT とオープンダイアログ、その将来

○高木 俊介  
たかぎクリニック

〈コーディネーター〉 石原 孝二 東京大学大学院総合文化研究科  
斎藤 環 筑波大学医学医療系



13:30~15:30 シンポジウム 88

精神疾患の背後に発達障害特性を見いだしたとき、いかに治療すべきか

司会：岡田 俊 名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科  
小平 雅基 総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科

S88-1 発達障害における強迫性と発達障害を背景とする強迫症状

○小平 雅基  
総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科

S88-2 発達障害に伴う不安と発達障害を基盤とする表現型としての不安症

○岡田 俊  
名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科

S88-3 発達障害を有する患者のトラウマ関連症状

○岩垂 喜貴  
医療法人財団青溪会駒木野病院精神科

S88-4 ボーダーラインパーソナリティ特性と発達障害特性

○渡部 京太  
広島市こども療育センター

〈コーディネーター〉 岡田 俊 名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科  
小平 雅基 総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科

6月22日(土) M会場 (センター 4F 中会場) [国際会議室]

8:10~10:10

シンポジウム 68

医療と司法からみたダイバーシティ

司会：奥村 雄介 東日本矯正医療センター  
安藤 久美子 聖マリアンナ医科大学病院神経精神科学教室

S68-1

ダイバーシティと矯正医療

○奥村 雄介  
東日本矯正医療センター

S68-2

高齢者犯罪の増加をめぐって

○野村 俊明  
日本医科大学付属病院

S68-3

司法の文脈における個性とダイバーシティ -ジェンダーと発達障害の視点から

○安藤 久美子  
聖マリアンナ医科大学病院神経精神科学教室

S68-4

脳空間における犯罪とダイバーシティ

○岡田 幸之  
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医学分野

S68-5

検察庁における再犯防止対策

○横田 希代子  
東京高等検察庁

〈コーディネーター〉 安藤 久美子 聖マリアンナ医科大学病院神経精神科学教室

10:20~12:20

シンポジウム 80

統合失調症の Sense of Agency 研究：精神病理学-計算論的精神医学-神経科学の連繋

司会：前田 貴記 慶應義塾大学医学部精神神経科  
山下 祐一 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

S80-1

統合失調症における自我障害の精神病理学

○前田 貴記  
慶應義塾大学医学部精神神経科

S80-2

統合失調症における自我障害の神経心理学：Sense of Agency とは？

○大井 博貴  
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

S80-3

統合失調症における Sense of Agency の神経生理学

○温 文  
東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻

S80-4

予測符号化理論に基づく統合失調症の病態理解：精神病理学と神経科学の橋渡しとしての計算論的精神医学

○山下 祐一  
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第七部



S80-5 ニューラルネットワークモデルによる統合失調症での Sense of Agency 異常の病態仮説検証

○沖村 宰<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>医療法人社団碧水会長谷川病院、<sup>2</sup>慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

〈コーディネーター〉 前田 貴記 慶應義塾大学医学部精神神経科  
山下 祐一 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

13:30~15:30 委員会シンポジウム 28 (法委員会)  
旧優生保護法と精神科医療を検証する

司会：三野 進 みのクリニック  
早苗 麻子 萌クリニック

CS28-1 日本における優生法の歴史

○松原 洋子  
立命館大学

CS28-2 優生保護法と精神科医療

○岡田 靖雄  
青柿舎

CS28-3 優生保護法のもとで 障害者と女性の葛藤と共闘

○米津 知子<sup>1,2,3</sup>  
<sup>1</sup>DPI女性障害者ネットワーク、<sup>2</sup>SOSHIREN女（わたし）のからだから、<sup>3</sup>優生手術に対する謝罪を求める会

CS28-4 旧優生保護法と精神科医療に関する法委員会の報告

○佐藤 真弓  
医) ひまわり佐藤まゆみメンタルクリニック

〈コーディネーター〉 佐藤 真弓 (医) ひまわり佐藤まゆみメンタルクリニック  
三野 進 みのクリニック  
早苗 麻子 萌クリニック

6月22日(土) N会場 (ホテル 3F 小会場) [孔雀]

8:10~10:10 シンポジウム 69  
慢性疼痛

司会：白井 千恵 順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック科  
井上 雄一 公益財団法人神経研究所睡眠学研究室

S69-1 慢性痛の認知行動療法をより効果的なものにするために -課題と対策-

○吉野 敦雄、神人 蘭、岡本 泰昌  
広島大学大学院精神神経科

S69-2 慢性疼痛：集学的治療の重要性

○西原 真理、井上 雅之  
愛知医科大学医学部学際的痛みセンター

S69-3 線維筋痛症の脳機能画像研究および今後の展開

○白井 千恵  
順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック科

S69-4 オフセット疼痛を用いた慢性疼痛疾患である線維筋痛症とうつ病などの他の鑑別疾患との検討

○長田 賢一<sup>1</sup>、白井 千恵<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室、<sup>2</sup>順天堂大学医学部附属練馬病院

S69-5 Restless legs 症候群と疼痛の関係

○井上 雄一  
公益財団法人神経研究所睡眠学研究室

〈コーディネーター〉 白井 千恵 順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック科  
井上 雄一 公益財団法人神経研究所睡眠学研究室

10:20~12:20 シンポジウム 81  
不安症状に対する新しい取り組み

司会：穂吉 條太郎 大分大学医学部分子解剖学/大分駅南クリニック  
井上 猛 東京医科大学精神医学分野

S81-1 不安を伴う自閉スペクトラム症児に対する集団認知行動療法プログラムの有用性の検討

○神尾 陽子<sup>1</sup>、岡 琢哉<sup>2</sup>、中島 洋子<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>お茶の水女子大学人間発達教育科学研究所、<sup>2</sup>東京都立小児総合医療センター、<sup>3</sup>医療法人豊仁会まな星クリニック

S81-2 自然還元水または水道水のヒトへの長期投与における臨床ランダム化比較研究

○穂吉 條太郎<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>大分大学医学部分子解剖学教室、<sup>2</sup>大分駅南クリニック

S81-3 心身相関軸から介入する古くて新しい方法

○熊野 宏昭  
早稲田大学人間科学学術院

S81-4 小児期の体験が不安症状に及ぼす影響

○井上 猛  
東京医科大学精神医学分野



S81-5

〔指定発言〕

○川崎 葉子  
お茶の水女子大学

〈コーディネーター〉 穂吉 條太郎 大分大学医学部分子解剖学/大分駅南クリニック  
井上 猛 東京医科大学精神医学分野

13:30~15:30

シンポジウム 89

精神科薬物療法の出口戦略を考える

司会：三島 和夫 秋田大学大学院医学系研究科  
渡辺 範雄 京都大学大学院社会健康医学系専攻

S89-1

抗精神病薬

○稲田 健  
東京女子医科大学医学部精神医学講座

S89-2

抗うつ薬治療で寛解した後の抗うつ薬中止を考える。 -メタ解析-

○加藤 正樹  
関西医科大学精神神経科学講座

S89-3

気分安定薬により病状が安定した双極性障害患者は、その気分安定薬を継続すべきか？

○岸 太郎<sup>1</sup>、松田 勇紀<sup>2</sup>、大矢 一登<sup>1</sup>、佐久間 健二<sup>1</sup>、野村 郁雄<sup>1</sup>、奥谷 理<sup>1</sup>、三宅 誕実<sup>3</sup>、  
波多野 正和<sup>5</sup>、橋本 保彦<sup>4</sup>、江角 悟<sup>6</sup>、松井 佑樹<sup>7</sup>

<sup>1</sup>藤田医科大学精神神経科、<sup>2</sup>東京慈恵会医科大学附属病院、<sup>3</sup>聖マリアンナ医科大学病院、<sup>4</sup>神戸学院大学、  
<sup>5</sup>藤田医科大学、<sup>6</sup>岡山大学病院、<sup>7</sup>医療法人明心会仁大病院

S89-4

ベンゾジアゼピン受容体作動薬の減量・中止に心理社会療法は有用か？

○高江洲 義和<sup>1</sup>、船田 大輔<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>杏林大学精神神経科学教室、<sup>2</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

S89-5

ADHD 薬物療法の出口戦略を考える

○齊藤 卓弥<sup>1</sup>、辻井 農亜<sup>2</sup>、宇佐美 正英<sup>3</sup>、桑原 秀徳<sup>4</sup>、藤田 純一<sup>5</sup>、根来 秀樹<sup>6</sup>、川村 路代<sup>7</sup>、  
飯田 順三<sup>8</sup>、岡田 俊<sup>9</sup>

<sup>1</sup>北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門、<sup>2</sup>近畿大学医学部精神神経科学講座、  
<sup>3</sup>国立国際医療研究センター国府台病院、<sup>4</sup>医療法人せのがわ瀬野川病院、  
<sup>5</sup>横浜市立大学大学院医学研究科精神医学部門、<sup>6</sup>奈良教育大学教育学部障害児医学分野、  
<sup>7</sup>北海道大学附属図書館研究支援課医系グループ、<sup>8</sup>奈良県立医科大学医学部看護学科、  
<sup>9</sup>名古屋大学医学部付属病院親と子どもの診療科

S89-6

〔指定発言〕

○橋本 亮太  
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

〈コーディネーター〉 三島 和夫 秋田大学大学院医学系研究科  
橋本 亮太 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター  
渡辺 範雄 京都大学大学院社会健康医学系専攻

6月22日(土) O会場 (ホテル 4F 小会場) [朱鷺A]

8:10~10:10

シンポジウム 70

精神科治療に対する同意能力は適切に評価されているのか？患者の保護と自己決定の尊重

司会：古郡 規雄 獨協医科大学精神神経医学講座  
橋本 有生 早稲田大学法学学術院

S70-1 精神科医療における同意能力について

○宮崎 健祐  
一般財団法人愛成会弘前愛成会病院精神科

S70-2 医療同意における法律問題

○橋本 有生  
早稲田大学

S70-3 統合失調症における同意能力研究の現状

○菅原 典夫  
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター情報管理・解析部

S70-4 認知症患者における医療同意能力評価

○成木 迅  
京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学

〈コーディネーター〉 古郡 規雄 獨協医科大学精神神経医学講座

10:20~12:20

シンポジウム 82

精神科診断に求められる機能・要件を考える

司会：太田 敏男 さやま総合クリニック  
仙波 純一 さいたま市立病院精神科

S82-1 診療場面、特に初期・急性期において精神科診断に求められる枠組みと機能

○太田 敏男  
さやま総合クリニック

S82-2 薬物療法からみた精神科診断の機能と要件

○仙波 純一  
さいたま市立病院精神科

S82-3 精神科診断に求められる機能と要件：精神療法・カウンセリングの立場から

○大野 裕  
大野研究所

S82-4 精神科診断における精神症状と脳機能と主観体験

○福田 正人  
群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学

S82-5 認知症診断の社会的機能：医療人類学の視点から

○北中 淳子  
慶應義塾大学文学部

〈コーディネーター〉 太田 敏男 さやま総合クリニック  
仙波 純一 さいたま市立病院精神科



13:30~15:30 **シンポジウム 90**  
**精神科診断を向上させるためのヘルスリテラシーの活用**

司会：鈴木 利人 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック  
井上 猛 東京医科大学精神医学分野

S90-1 **ヘルスリテラシーとは何か**

○中山 和弘  
聖路加国際大学

S90-2 **精神疾患診断のためのインターネット活用のリスク・ベネフィット**

○太刀川 弘和  
筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

S90-3 **コミュニケーションツールを用いたメンタルヘルスリテラシーの向上**

○田中 克俊  
北里大学大学院医療系研究科医学専攻産業精神保健学

S90-4 **メンタルヘルスリテラシーと人工知能**

○工藤 弘毅  
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

〈コーディネーター〉 鈴木 利人 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック  
井上 猛 東京医科大学精神医学分野

6月22日(土) P会場 (ホテル 4F 小会場) [朱鷺B]

8:10~10:10

シンポジウム 71

さまざまな精神神経疾患の妊娠・出産・授乳への対応

司会：鈴木 利人 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック  
福井 直樹 新潟大学医歯学総合病院精神科

S71-1 統合失調症合併妊産婦に対する妊娠・出産・授乳への対応

○根本 清貴  
筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

S71-2 気分障害合併妊産婦に対する妊娠・出産・授乳への対応

○菊地 紗耶<sup>1</sup>、小林 奈津子<sup>1</sup>、本多 奈美<sup>2</sup>、富田 博秋<sup>2,3</sup>  
<sup>1</sup>東北大学病院精神科、<sup>2</sup>東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、  
<sup>3</sup>東北大学大学院医学系研究科災害精神医学分野

S71-3 周産期における強迫症・パニック症

○清野 仁美、橋本 卓也、松永 寿人  
兵庫医科大学精神科神経科学講座

S71-4 摂食障害合併妊婦と産後の地域包括ケアシステム

○木村 大<sup>1,2,3</sup>、渡邊 博幸<sup>1,4</sup>、中里 道子<sup>2,3</sup>  
<sup>1</sup>学会会木村病院、<sup>2</sup>千葉大学大学院医学研究院精神医学、<sup>3</sup>国際医療福祉大学精神医学、  
<sup>4</sup>千葉大学社会精神保健教育研究センター

S71-5 てんかん合併妊娠の医療的支援～妊娠前にすること、妊娠中にすること、出産後にすること～

○加藤 昌明  
むさしの国分寺クリニック

〈コーディネーター〉 鈴木 利人 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック  
岡野 禎治 三重大学名誉教授

10:20~12:20

シンポジウム 83

精神科診療における自律神経活動評価：心拍変動計測の現状と展望

司会：榛葉 俊一 静岡済生会総合病院精神科  
仮屋 暢聡 まいんずたわーメンタルクリニック

S83-1 心拍変動の基礎と精神疾患における変化

○榛葉 俊一  
静岡済生会総合病院精神科

S83-2 精神科診療所における心拍変動検査を用いた診断・治療の実際

○仮屋 暢聡、松田 小織、松田 英江、小原 右輔、樋口 友香  
まいんずたわーメンタルクリニック

S83-3 ヨーガ療法による自律神経活動変化

○井上 智子<sup>1,2,4,5</sup>、榛葉 俊一<sup>1,3</sup>、宮下 光弘<sup>1,2</sup>、鈴木 一浩<sup>1</sup>、堀内 泰江<sup>1,2</sup>、鳥海 和也<sup>1</sup>、糸川 昌成<sup>1,2</sup>、  
木村 慧心<sup>4</sup>、新井 誠<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京都医学総合研究所、<sup>2</sup>東京都立松沢病院、<sup>3</sup>静岡済生会総合病院、<sup>4</sup>日本ヨーガ療法学会、<sup>5</sup>首都大学東京

S83-4 心拍変動 (HRV) 指標のロジスティック判別分析による客観的うつ病診断

○孫 光鎬<sup>1</sup>、松井 岳巳<sup>2</sup>、榛葉 俊一<sup>3</sup>、仮屋 暢聡<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>電気通信大学、<sup>2</sup>首都大学東京、<sup>3</sup>静岡済生会総合病院、<sup>4</sup>まいんずたわーメンタルクリニック



S83-5 子猫の動画視聴で分かる自律神経応答を用いたうつ病スクリーニングシステム

○松井 岳巳  
首都大学東京システムデザイン学部

〈コーディネーター〉 榛葉 俊一 静岡済生会総合病院精神科  
 仮屋 暢聡 まいんずたわーメンタルクリニック  
 松井 岳巳 首都大学東京システムデザイン学部

13:30~15:30 委員会シンポジウム 29 (精神科医・精神科医療の実態把握・将来計画に関する委員会)  
オンライン精神科医療：保険承認後の現状と課題

司会：米田 博 大阪医科大学  
 稲垣 中 青山学院大学

CS29-1 精神科領域におけるオンライン診療：制度設計の経緯と展望

○吉村 健佑  
千葉大学医学部附属病院病院経営管理学研究センター

CS29-2 オンライン精神科医療の現状と課題：特に保険診療としての位置づけに注目して

○岸本 泰士郎  
慶應義塾大学精神・神経科学教室

CS29-3 自由診療を中心としたオンライン精神科医療の実態

○来田 誠  
新六本木クリニック

CS29-4 オンライン精神科医療：保険承認後の現状と課題地域保健福祉の側面から

○辻本 哲士  
滋賀県立精神保健福祉センター

〈コーディネーター〉 稲垣 中 青山学院大学  
 辻本 哲士 滋賀県立精神保健福祉センター

6月22日(土) Q会場 (万代島ビル 6F) [会議室]

8:10~10:10 シンポジウム 72  
今必要な精神科臨床における心理教育

司会：後藤 雅博 医療法人崇徳会こころのクリニック・ウィズ  
渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室

S72-1 統合失調症の心理教育は単なる情報提供か～臨床現場での課題～

○内野 俊郎  
久留米大学医学部神経精神医学講座

S72-2 うつ病の心理教育

○藤田 博一  
高知大学医学部医学教育創造・推進室

S72-3 境界性パーソナリティ障害、摂食障害など、感情調節困難のための心理教育としての弁証法的行動療法の活用

○遊佐 安一郎  
長谷川メンタルヘルス研究所

S72-4 多職種アウトリーチによる支援が心理教育に与える影響について

○藤井 和世<sup>1</sup>、伊藤 順一郎<sup>1</sup>、岩谷 潤<sup>1</sup>、伊藤 砂智子<sup>1</sup>、浦林 翼<sup>2</sup>、上田 昌広<sup>2</sup>、斎藤 和彦<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ精神科、<sup>2</sup>特定非営利法人リカバリーサポートセンターACTIPS

S72-5 【指定発言】

○渡邊 衡一郎  
杏林大学医学部精神神経科学教室

〈コーディネーター〉 後藤 雅博 医療法人崇徳会こころのクリニック・ウィズ  
渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室

10:20~12:20 シンポジウム 84  
DVで避難してきた患者とその子どもの精神疾患をどう診ていくか

司会：三宅 和佳子 大阪母子医療センター子どものこころの診療科  
上野 千穂 京都市児童福祉センター診療所

S84-1 精神医学的観点から DV を考える -精神科医療は他機関とどう連携するか-

○山下 浩  
さいたま市子ども家庭総合センター

S84-2 児童相談所と DV (ドメスティックバイオレンス)

○上野 千穂  
京都市児童福祉センター診療所

S84-3 DV 被害母子の親子間交流の特徴と親子相互交流療法 (PCIT) を用いた治療的介入

○加茂 登志子  
若松町こころとひふのクリニックPCIT研修センター

S84-4 DV 加害者への心理教育プログラム

○森田 展彰  
筑波大学医学医療系

〈コーディネーター〉 上野 千穂 京都市児童福祉センター診療所



6月22日(土) ポスター会場1 (センター 2F) [エスプラナード]

12:30~13:18 一般演題 (ポスター) 61  
遺伝学・分子遺伝学

司会: 渡部 雄一郎 新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

3-P61-1 児童精神科受診を契機にプラダー・ウィリ症候群の診断が確定した12歳児童症例

○富田 順子<sup>1</sup>、井村 進吾<sup>1</sup>、滝井 泰孝<sup>1</sup>、川目 裕<sup>2</sup>、富田 博秋<sup>3,4</sup>

<sup>1</sup>東北福祉大学せんだんホスピタル、

<sup>2</sup>東北大学東北メディカル・メガバンク機構遺伝子診療支援・遺伝カウンセリング分野、

<sup>3</sup>東北大学大学院医学系研究科精神医学分野、<sup>4</sup>東北大学東北メディカル・メガバンク機構メンタルヘルステア推進室

3-P61-2 統合失調症罹患状態一致一卵性双生児家系のエクソーム解析

○保谷 智史<sup>1</sup>、渡部 雄一郎<sup>1</sup>、布川 綾子<sup>1,2</sup>、井桁 裕文<sup>1</sup>、森川 亮<sup>1</sup>、澁谷 雅子<sup>1</sup>、染矢 俊幸<sup>1</sup>

<sup>1</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、<sup>2</sup>大島病院

3-P61-3 統合失調症患者・両親トリオ20家系の全エクソーム解析

○保谷 智史、渡部 雄一郎、澁谷 雅子、井桁 裕文、森川 亮、染矢 俊幸

新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

3-P61-4 統合失調症を合併したMyhre症候群の1例

○井上 佳祐<sup>1</sup>、永露 毅<sup>2</sup>、瀬本 みさと<sup>3</sup>、六本木 知秀<sup>1</sup>、野本 宗孝<sup>1</sup>、高橋 雄一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター、<sup>2</sup>公益財団法人復康会沼津中央病院、

<sup>3</sup>独立行政法人国立病院機構横浜医療センター

3-P61-5 統合失調症と自閉スペクトラム症におけるDAB1遺伝子内の稀な一塩基変異の探索

○名和 佳弘、木村 大樹、石塚 佳奈子、久島 周、アレクシッチ プランコ、尾崎 紀夫

名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野

3-P61-6 自殺既遂者の血液・脳組織におけるY染色体喪失の解析

○木村 敦、菱本 明豊、平田 尚士、山木 愛久、蓬萊 政、新名 尚史、大塚 郁夫、岡崎 賢志、

朴 秀賢、曾良 一郎

神戸大学医学部附属病院

12:30~13:18 一般演題 (ポスター) 62  
児童・思春期精神障害および知的障害3

司会: 小野 和哉 聖マリアンナ医科大学

3-P62-1 児童・思春期精神科病棟でのゲーム機使用に関する全国調査

○吉永 清宏<sup>1</sup>、杉本 篤言<sup>2</sup>、姉崎 則子<sup>3</sup>、佐藤 博幸<sup>3</sup>、山本 万里子<sup>3</sup>、山田 美穂<sup>3</sup>、江川 純<sup>4</sup>、  
染矢 俊幸<sup>4</sup>

<sup>1</sup>新潟県立精神医療センター精神科、<sup>2</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科地域精神医療学寄附講座、

<sup>3</sup>新潟県立精神医療センター看護部、<sup>4</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

3-P62-2 児童精神科に入院、外来通院中の患児における体重、肥満度について

○吉永 清宏<sup>1</sup>、林 剛丞<sup>1,2</sup>、松崎 陽子<sup>1</sup>、小野 信<sup>1,3</sup>、細木 俊宏<sup>1</sup>

<sup>1</sup>新潟県立精神医療センター精神科、<sup>2</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、

<sup>3</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科地域精神医療学寄附講座

3-P62-3 アトモキセチン血中濃度と副作用の関連性

○杉本 篤言<sup>1</sup>、須貝 拓朗<sup>2</sup>、鈴木 雄太郎<sup>3,4</sup>、折目 直樹<sup>3</sup>、林 剛丞<sup>5</sup>、吉永 清宏<sup>5</sup>、江川 純<sup>2</sup>、  
小野 信<sup>1</sup>、井上 義政<sup>6</sup>、染矢 俊幸<sup>2</sup>

<sup>1</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科地域精神医療学講座、<sup>2</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、

<sup>3</sup>新潟大学医歯学総合病院精神科、<sup>4</sup>敬愛会末広橋病院、<sup>5</sup>新潟県立精神医療センター精神科、

<sup>6</sup>獨協医科大学精神神経医学講座

- 3-P62-4 **児童精神科外来での服薬指導が患児のアドヒアランスに与える影響について**  
 ○杉本 篤言<sup>1</sup>、鈴木 雄太郎<sup>2,3</sup>、山下 朋江<sup>4</sup>、吉永 清宏<sup>5</sup>、折目 直樹<sup>2</sup>、松崎 陽子<sup>5</sup>、小野 信<sup>1</sup>、  
 染矢 俊幸<sup>6</sup>  
<sup>1</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科地域精神医療学講座、<sup>2</sup>新潟大学医歯学総合病院精神科、  
<sup>3</sup>医療法人敬愛会末広橋病院、<sup>4</sup>新潟県立精神医療センター薬剤部、<sup>5</sup>新潟県立精神医療センター精神科、  
<sup>6</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

- 3-P62-5 **MEG で計測された非てんかん性突発波が自閉症スペクトラム児の認知機能に与える影響**  
 ○廣澤 徹  
 金沢大学附属病院神経科精神科

- 3-P62-6 **自閉スペクトラム障害におけるメタボロミクスの特徴とオキシトシンによる変化について**  
 ○加藤 康彦<sup>1</sup>、桑原 斉<sup>1</sup>、岡田 俊<sup>2</sup>、棟居 俊夫<sup>3</sup>、黒田 美保<sup>4</sup>、児島 正樹<sup>4</sup>、Yassin Walid<sup>4</sup>、  
 ベナー 聖子<sup>4</sup>、江里口 陽介<sup>4</sup>、亀野 陽亮<sup>1</sup>、村山 千尋<sup>1</sup>、由比 光子<sup>3</sup>、尾崎 紀夫<sup>2</sup>、小坂 浩隆<sup>5</sup>、  
 山末 英典<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>浜松医科大学医学部附属病院精神神経科、<sup>2</sup>名古屋大学医学部附属病院、<sup>3</sup>金沢大学附属病院神経科精神科、  
<sup>4</sup>東京大学医学部附属病院、<sup>5</sup>福井大学医学部附属病院

12:30~13:18 **一般演題（ポスター）63**  
**児童・思春期精神障害および知的障害 4**

司会：遠藤 太郎 新潟こころの発達クリニック

- 3-P63-1 **発達障害専門クリニックにおける注意欠如多動症のguanfacin塩酸塩による治療転帰について**  
 ○田村 立、遠藤 太郎  
 新潟こころの発達クリニック
- 3-P63-2 **小児精神科専門クリニック通院患者におけるゲーム症の実態調査 -ゲーム症と神経発達症の関連について-**  
 ○遠藤 太郎、田村 立  
 新潟こころの発達クリニック
- 3-P63-3 **多様な精神医学援助により社会機能を維持した高機能自閉スペクトラム障害患者の 1 症例**  
 ○藤本 浩之  
 四谷麴町メンタルクリニック
- 3-P63-4 **修正型電気けいれん療法で治療反応を認めた自閉症カタトニアの 3 症例**  
 ○茂木 太一<sup>1</sup>、墳本 陽子<sup>1</sup>、新留 圭将<sup>1</sup>、高橋 知久<sup>1</sup>、角田 智哉<sup>2</sup>、吉野 相英<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>防衛医科大学校精神科学講座、<sup>2</sup>福島県立矢吹病院
- 3-P63-5 **Cornelia de Lange 症候群に併存した自閉スペクトラム症の 2 症例**  
 ○宮下 真子<sup>1</sup>、渡邊 藍子<sup>1</sup>、福井 直樹<sup>1</sup>、吉永 清宏<sup>1</sup>、遠藤 太郎<sup>3</sup>、北村 秀明<sup>2</sup>、染矢 俊幸<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>新潟大学医歯学総合病院精神科、<sup>2</sup>佐潟荘、<sup>3</sup>新潟こころの発達クリニック
- 3-P63-6 **Conners' Adult ADHD Rating Scales の矛盾指標に関する検討**  
 ○北村 秀明  
 医療法人水明会佐潟荘精神科



12:30~13:18 一般演題 (ポスター) 64  
児童・思春期精神障害および知的障害 5

司会：江川 純 新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

3-P64-1 ASD と ADHD の臨床的症狀の比較

○高橋 茜里、富田 秋沙、平田 亮人、岡島 由佳、岩波 明  
昭和大学病院附属東病院精神神経科

3-P64-2 自閉スペクトラム症の成人男性へのオキシトシン投与効果とキヌレニン経路の関係 (予備的検討)

○村山 千尋<sup>1</sup>、桑原 齊<sup>1</sup>、岡田 俊<sup>2</sup>、棟居 俊夫<sup>3</sup>、黒田 美保<sup>4</sup>、児島 正樹<sup>4</sup>、ヤシン ワリド<sup>4</sup>、  
ベナー 聖子<sup>4</sup>、江里口 陽介<sup>4</sup>、亀野 陽亮<sup>1</sup>、加藤 康彦<sup>1</sup>、由比 光子<sup>3</sup>、増田 潤一<sup>5</sup>、尾崎 紀夫<sup>2</sup>、  
小坂 浩隆<sup>6</sup>、山末 英典<sup>1</sup>

<sup>1</sup>浜松医科大学医学部附属病院精神神経科、<sup>2</sup>名古屋大学医学部附属病院、<sup>3</sup>金沢大学附属病院神経科精神科、  
<sup>4</sup>東京大学医学部附属病院、<sup>5</sup>島津製作所、<sup>6</sup>福井大学医学部附属病院

3-P64-3 成人期の ADHD の WAIS-III におけるディスレパシー

○武田 俊信<sup>1</sup>、中島 陽大<sup>2</sup>、辻 由依<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>龍谷大学文学部、<sup>2</sup>洛和会音羽病院、<sup>3</sup>北海道医療大学

3-P64-4 ロールシャッハテスト・バウムテストにおける自閉症スペクトラム症の心理的特徴の理解

○佐野 英孝、妹尾 佳苗  
白根緑ヶ丘病院精神科

3-P64-5 発達性計算障害症例における数概念について

○丹治 和世<sup>1,2</sup>、加藤 進昌<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>山形県立こころの医療センター精神科、<sup>2</sup>昭和大学発達障害医療研究所

3-P64-6 拡散テンソル画像を用いた脳機能結合と自閉スペクトラム症との関連解析

○江川 純<sup>1</sup>、杉本 篤言<sup>1</sup>、吉永 清宏<sup>1,2</sup>、林 剛丞<sup>1,2</sup>、染矢 俊幸<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、<sup>2</sup>新潟県立精神医療センター

## 6月22日(土) ポスター会場2 (センター 2F) [メインホールAB前ホワイエ]

12:30~13:18 一般演題 (ポスター) 65  
コンサルテーション・リエゾン3

司会：山田 健志 公益財団法人がん研究会有明病院腫瘍精神科

## 3-P65-1 PHQ-9 および SF-8 の調査結果から考察する肝移植ドナーの長期予後について

○成田 尚、黒鳥 偉作、大柳 有加、高信 径介、渡辺 晋也、宇土 仁木、前田 珠希、岡 松彦、北川 寛、久住 一郎  
北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

## 3-P65-2 頭部外傷受傷者に対する東北大学病院精神科リエゾンチームの取り組み

○佐久間 篤<sup>1</sup>、八木橋 真央<sup>1</sup>、中川 敦寛<sup>2</sup>、麦倉 俊司<sup>3</sup>、古谷 桂子<sup>4</sup>、工藤 大介<sup>4,5</sup>、大沢 伸一郎<sup>2</sup>、久志本 成樹<sup>4,5</sup>、富永 悌二<sup>2</sup>、富田 博秋<sup>6</sup>  
<sup>1</sup>東北大学病院精神科、<sup>2</sup>東北大学大学院医学系研究科神経外科学分野、  
<sup>3</sup>東北大学大学院医学系研究科放射線診断学分野、<sup>4</sup>東北大学病院高度救命救急センター、  
<sup>5</sup>東北大学大学院医学系研究科救急医学分野、<sup>6</sup>東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

## 3-P65-3 総合病院リエゾン診療から見たアルコール依存症

○落合 尚美<sup>1</sup>、三浦 裕介<sup>1</sup>、池田 真人<sup>1</sup>、紺井 理和<sup>2</sup>、岩田 多加子<sup>3</sup>、仲野 真由美<sup>4</sup>、横田 夏葉<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>聖路加国際病院精神科、<sup>2</sup>聖路加国際病院予防医療センター、<sup>3</sup>聖路加国際病院オンコロジーセンター、  
<sup>4</sup>聖路加国際病院医療社会事業科、<sup>5</sup>聖路加国際病院臨床心理室

## 3-P65-4 重症熱傷のリエゾン・コンサルテーション自殺企図後の顔面熱傷後癩痕患者の治療について

○川本 恭子<sup>1</sup>、亀井 航<sup>2</sup>、堀 圭二郎<sup>2</sup>、豊見山 則子<sup>3</sup>、櫻井 裕之<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京女子医科大学神経精神科、<sup>2</sup>東京女子医科大学病院形成外科、<sup>3</sup>東京女子医科大学八千代医療センター看護局

## 3-P65-5 地域リエゾンの試み～不妊治療専門クリニックにおけるコンサルテーション・リエゾン精神医療

○安田 貴昭<sup>1</sup>、栗原 瑛大<sup>1,2</sup>、原口 真里子<sup>3</sup>、松浦 恵<sup>3</sup>、村林 奈緒<sup>3,4</sup>、福田 純子<sup>3</sup>、俵 史子<sup>3,4</sup>  
<sup>1</sup>埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック、<sup>2</sup>埼玉精神神経センター精神科、<sup>3</sup>俵IVFクリニック、  
<sup>4</sup>浜松医科大学生殖周産期医学講座

## 3-P65-6 地域リエゾンの試み～在宅療養支援診療所におけるコンサルテーション・リエゾン精神医療

○安田 貴昭<sup>1</sup>、丸山 善治郎<sup>2</sup>、倉持 泉<sup>1,3</sup>、嶋崎 広海<sup>1,4</sup>、吉益 晴夫<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック、<sup>2</sup>あい小児科、<sup>3</sup>埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科、  
<sup>4</sup>西熊谷病院精神・神経科12:30~13:18 一般演題 (ポスター) 66  
コンサルテーション・リエゾン4

司会：新藤 雅延 新潟市民病院

## 3-P66-1 緩和医療におけるハロペリドール注使用状況の調査

○富岡 大<sup>1,2,3</sup>、岩船 めぐみ<sup>2</sup>、横山 和彦<sup>2,4</sup>、杉阪 利枝<sup>2</sup>、徳永 愛美<sup>2</sup>、梅野 頌子<sup>2</sup>、星川 麻美<sup>2</sup>、野村 美香<sup>1,2</sup>、小田 道子<sup>1,2</sup>、飛田 真砂美<sup>3</sup>、横山 佐知子<sup>3</sup>、富田 秋沙<sup>3</sup>、沖野 和磨<sup>1,3</sup>、佐藤 裕一<sup>1</sup>、佐藤 啓<sup>1</sup>、嘉部 匡朗<sup>1</sup>、岡本 健一郎<sup>2,4</sup>、稲本 淳子<sup>1,3</sup>、岩波 明<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター精神神経科、<sup>2</sup>昭和大学横浜市北部病院緩和医療チーム、  
<sup>3</sup>昭和大学医学部精神医学講座、<sup>4</sup>昭和大学横浜市北部病院緩和医療科

## 3-P66-2 せん妄対策ワーキングチームによる院内せん妄対策標準化の試み：せん妄マニュアル運用前後での比較検討

○井田 逸朗、村山 侑里、石井 あかね  
独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター精神科



3-P66-3

**精神科有床総合病院の身体科病棟におけるソーシャルワークについて**

○榎本 哲郎<sup>1</sup>、浦野 隆<sup>2</sup>、山本 啓太<sup>2</sup>、佃 宏美<sup>2</sup>、原田 郁大<sup>2</sup>、佐藤 啓子<sup>2</sup>、金久保 正光<sup>2</sup>、  
仁科 雄介<sup>2</sup>、瑞慶覧 紗希<sup>2</sup>、薬師寺 あかり<sup>2</sup>

<sup>1</sup>国立国際医療研究センター国府台病院精神科、<sup>2</sup>国立国際医療研究センター国府台病院

3-P66-4

**がん患者のうつ状態に対するエスシタロプラムの有効性および忍容性：非盲検非対照デザイン研究**

○市倉 加奈子<sup>1,2</sup>、宮島 美穂<sup>2</sup>、松島 英介<sup>2</sup>

<sup>1</sup>北里大学医療衛生学部健康科学科精神保健学、<sup>2</sup>東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科心療・緩和医療学

3-P66-5

**緩和ケア病棟で精神科医に求められること**

○和田 知未

大阪鉄道病院緩和ケア内科

12:30~13:18

**一般演題（ポスター）67**

**薬物療法 1**

司会：鈴木 雄太郎 新潟大学医歯学総合病院精神科

3-P67-1

**レビー小体型認知症患者の運動障害に対するゾニサミドの有効性および安全性の検討（第三相試験）**

○小田原 俊成<sup>1</sup>、長谷川 一子<sup>2</sup>、梶原 律子<sup>3</sup>、竹内 久朗<sup>3</sup>、田川 正秋<sup>4</sup>、高井 健太郎<sup>4</sup>、丸山 秀徳<sup>4</sup>、  
村田 美穂<sup>5</sup>、小阪 憲司<sup>6</sup>

<sup>1</sup>横浜市立大学保健管理センター、<sup>2</sup>国立病院機構相模原病院神経内科、<sup>3</sup>大日本住友製薬（株）開発本部、

<sup>4</sup>大日本住友製薬（株）メディカルアフェアーズ部、<sup>5</sup>国立精神・神経医療研究センター神経内科、

<sup>6</sup>湘南いなほクリニック

3-P67-2

**カルバマゼピン、クロルプロマジン、バルプロ酸間で交差過敏性を示した症例における白血球表面抗原**

○櫻田 久美、山田 和男、丹生谷 正史、中川 誠秀、鈴木 映二

東北医科薬科大学病院精神科

3-P67-3

**単科精神科病院における慢性の薬剤性便秘の現状 -その病態と対策（治療）を中心に-**

○岩崎 真三

医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院精神科

3-P67-4

**単剤および多剤治療群間における Aripiprazole と血中プロラクチン値の関連**

○橋尻 洸陽<sup>1,2</sup>、須貝 拓朗<sup>2</sup>、鈴木 雄太郎<sup>2</sup>、山崎 學<sup>3</sup>、下田 和孝<sup>4</sup>、森 隆夫<sup>3</sup>、尾関 祐二<sup>4</sup>、  
松田 ひろし<sup>3</sup>、菅原 典夫<sup>5</sup>、古郡 規雄<sup>4,6</sup>、岡本 呉賦<sup>3</sup>、寒河江 豊昭<sup>7</sup>、染矢 俊幸<sup>2</sup>

<sup>1</sup>新潟県立精神医療センター、<sup>2</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、<sup>3</sup>公益社団法人日本精神科病院協会、

<sup>4</sup>獨協医科大学精神神経医学講座、

<sup>5</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター、

<sup>6</sup>弘前大学大学院神経精神医学講座、<sup>7</sup>山形県立米沢栄養大学健康栄養学部健康栄養学科

3-P67-5

**SCAP 法を用いた処方適正化チームによる抗精神病薬減量の試み**

○坂本 靖之<sup>1,2</sup>、助川 鶴平<sup>3</sup>、百出 卓実<sup>2</sup>、門野 恵莉<sup>2</sup>、平見 明浩<sup>2</sup>、小谷 直江<sup>4</sup>、板野 亨<sup>2</sup>、  
三好 浩一郎<sup>2</sup>

<sup>1</sup>独立行政法人国立病院機構賀茂精神医療センター薬剤科、<sup>2</sup>独立行政法人国立病院機構鳥取医療センター薬剤部、

<sup>3</sup>独立行政法人国立病院機構鳥取医療センター医局、<sup>4</sup>独立行政法人国立病院機構鳥取医療センター看護部

12:30~13:18 **一般演題（ポスター）68**  
**産業精神医学**

司会：渡邊 純蔵 医療法人社団敬成会白根緑ヶ丘病院

- 3-P68-1 **ある朝、社長になっていたら -ストレスチェック医師面接におけるミラクル・クエスションの活用**  
○米沢 宏  
ジャパンEAPシステムズ
- 3-P68-2 **高ストレス市役所職員に対する意識調査**  
○衛藤 進吉  
上都賀総合病院精神科
- 3-P68-3 **産業医健康相談に弁証法的行動療法に基づくスキル指導が効果的であった情動調節困難の一例**  
○橋 輝<sup>1,2</sup>、七里 佳代<sup>1,2</sup>、鈴木 芳樹<sup>2</sup>、染矢 俊幸<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>新潟大学医歯学総合研究科精神医学分野、<sup>2</sup>新潟大学保健管理センター
- 3-P68-4 **初回エピソードうつ病患者の復職および再休職に影響する要因**  
○中川 正俊<sup>1</sup>、井原 一成<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>田園調布学園大学人間福祉学部、<sup>2</sup>弘前大学医学部社会医学講座
- 3-P68-5 **労働者におけるメンタルヘルス不調と認知機能障害の関連性**  
○柴岡 三智<sup>1</sup>、宋 裕姫<sup>2</sup>、池澤 聰<sup>3</sup>、山下 真吾<sup>3</sup>、増田 将史<sup>4</sup>、江口 尚<sup>5</sup>、井上 志乃<sup>1</sup>、中込 和幸<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>独立行政法人東京労災病院、<sup>2</sup>日産自動車株式会社、<sup>3</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、<sup>4</sup>イオン株式会社、<sup>5</sup>北里大学公衆衛生学教室
- 3-P68-6 **休職中の気分障害労働者への産業医科大学病院精神科外来での集団精神療法の効果検討**  
○手銭 宏文、堀 輝、香月 あすか、松元 知美、梅津 舞子、吉野 幸司、井手 健太、坂倉 孝紀、木島 玲緒人、岡本 直道、吉村 玲児  
産業医科大学病院神経精神科

12:30~13:18 **一般演題（ポスター）69**  
**動物モデル・基礎研究**

司会：布村 明彦 東京慈恵会医科大学精神医学講座

- 3-P69-1 **統合失調症に特異的な新規抗体探索へのアプローチ：予備的研究結果**  
○中神 由香子<sup>1</sup>、中島 則行<sup>2</sup>、杉原 玄一<sup>1</sup>、挾間 雅章<sup>1</sup>、松本 理器<sup>3</sup>、村上 孝作<sup>4</sup>、池田 昭夫<sup>5</sup>、村井 俊哉<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学、<sup>2</sup>久留米大学医学部医学科生理学講座、<sup>3</sup>神戸大学大学院医学研究科内科学講座神経内科学分野、<sup>4</sup>京都大学医学部附属病院免疫・膠原病内科、<sup>5</sup>京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座
- 3-P69-2  **$\beta$  ヒドロキシ酪酸は PTSD モデル動物において抗不安効果を有する**  
○山梨 豪彦、岩田 正明、常富 恭平、永田 真友、梶谷 直史、三浦 明彦、松尾 諒一、西口 毅、兼子 幸一  
鳥取大学医学部付属病院精神科
- 3-P69-3 **妊娠ラットへの継続的なバルプロ酸ナトリウム投与は神経細胞新生と認知行動に影響を与える**  
○伊藤 賢伸、金城 智也、鈴木 利人、新井 平伊  
順天堂大学精神医学講座
- 3-P69-4 **電気痙攣刺激（ECS）による血液脳関門の透過性調節（PROB）**  
○伊藤 賢伸、金城 智也、鈴木 利人、新井 平伊  
順天堂大学精神医学講座



3-P69-5

急性の嫌悪刺激は覚醒マウスの腹側被蓋野のドーパミン神経活動を急速に上昇させる

○守谷 俊平、山下 哲、坂口 淳一、桑木 共之  
鹿児島大学医歯学総合研究科統合分子生理学講座

3-P69-6

1型筋強直性ジストロフィー4症例の分子診断と睡眠障害

○浦田 結嘉<sup>1</sup>、今村 研介<sup>1</sup>、塩川 奈理<sup>1</sup>、林 岳宏<sup>1</sup>、石塚 貴周<sup>1</sup>、中村 雅之<sup>1</sup>、神林 崇<sup>2</sup>、佐野 輝<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>鹿児島大学病院、<sup>2</sup>秋田大学医学部付属病院

6月22日(土) ポスター会場6 (ホテル 4F) [朱鷺ホワイエ]

12:30~13:18 一般演題 (ポスター) 70  
地域精神医療 2

司会：福井 直樹 新潟大学医歯学総合研究科精神医学分野

3-P70-1 Mother-to-Infant Bonding Scale (MIBS) 日本語版 (MIBS-J) の因子構造についての検討

○茂木 崇治<sup>1</sup>、福井 直樹<sup>1</sup>、橋尻 洸陽<sup>1</sup>、坪谷 隆介<sup>1</sup>、須貝 拓朗<sup>1</sup>、江川 純<sup>1</sup>、三留 節子<sup>2</sup>、  
荒木 理恵<sup>3</sup>、池 陸美<sup>3</sup>、生野 寿史<sup>4</sup>、山口 雅幸<sup>4</sup>、高桑 好一<sup>5</sup>、榎本 隆之<sup>4</sup>、染矢 俊幸<sup>1</sup>

<sup>1</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、<sup>2</sup>新潟大学医歯学総合病院看護部、  
<sup>3</sup>新潟青陵大学大学院看護学研究科看護学部看護科、<sup>4</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科産科婦人科学分野、  
<sup>5</sup>新潟大学医歯学総合病院総合周産期母子医療センター

3-P70-2 周産期のメンタルヘルスに影響を与える因子についての検討

○茂木 崇治<sup>1</sup>、福井 直樹<sup>1</sup>、橋尻 洸陽<sup>1</sup>、坪谷 隆介<sup>1</sup>、須貝 拓朗<sup>1</sup>、江川 純<sup>1</sup>、三留 節子<sup>2</sup>、  
荒木 理恵<sup>3</sup>、池 陸美<sup>3</sup>、生野 寿史<sup>4</sup>、山口 雅幸<sup>4</sup>、高桑 好一<sup>5</sup>、榎本 隆之<sup>4</sup>、染矢 俊幸<sup>1</sup>

<sup>1</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、<sup>2</sup>新潟大学医歯学総合病院看護部、  
<sup>3</sup>新潟青陵大学大学院看護学研究科看護学部看護科、<sup>4</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科産科婦人科学分野、  
<sup>5</sup>新潟大学医歯学総合病院総合周産期母子医療センター

3-P70-3 分娩歴と完全母乳栄養が妊産婦の不安・抑うつに与える影響について

○福井 直樹<sup>1</sup>、茂木 崇治<sup>1</sup>、橋尻 洸陽<sup>1</sup>、坪谷 隆介<sup>1</sup>、須貝 拓朗<sup>1</sup>、江川 純<sup>1</sup>、三留 節子<sup>2</sup>、  
荒木 理恵<sup>3</sup>、池 陸美<sup>3</sup>、生野 寿史<sup>4</sup>、山口 雅幸<sup>4</sup>、高桑 好一<sup>5</sup>、榎本 隆之<sup>4</sup>、染矢 俊幸<sup>1</sup>

<sup>1</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、<sup>2</sup>新潟大学医歯学総合病院看護部、  
<sup>3</sup>新潟青陵大学大学院看護学研究科看護学部看護科、<sup>4</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科産科婦人科学分野、  
<sup>5</sup>新潟大学医歯学総合病院総合周産期母子医療センター

3-P70-4 自閉スペクトラム指数 (Autism-Spectrum Quotient) 日本語版の因子構造について

○福井 直樹<sup>1</sup>、茂木 崇治<sup>1</sup>、橋尻 洸陽<sup>1</sup>、坪谷 隆介<sup>1</sup>、須貝 拓朗<sup>1</sup>、江川 純<sup>1</sup>、三留 節子<sup>2</sup>、  
荒木 理恵<sup>3</sup>、池 陸美<sup>3</sup>、生野 寿史<sup>4</sup>、山口 雅幸<sup>4</sup>、高桑 好一<sup>5</sup>、榎本 隆之<sup>4</sup>、染矢 俊幸<sup>1</sup>

<sup>1</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、<sup>2</sup>新潟大学医歯学総合病院看護部、  
<sup>3</sup>新潟青陵大学大学院看護学研究科看護学部看護科、<sup>4</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科産科婦人科学分野、  
<sup>5</sup>新潟大学医歯学総合病院総合周産期母子医療センター

3-P70-5 僻地での精神科在宅診療の実践についての検討

○楠野 泰之  
医療法人共生会 (ともにいきるかい) 川湯の森病院

12:30~13:18 一般演題 (ポスター) 71  
精神療法・心理教育

司会：渋谷 雅子 新潟大学医学部精神医学教室

3-P71-1 強迫症の入院治療における認知行動療法のメリット・デメリットについて

○吉田 賀一<sup>1</sup>、向井 馨一郎<sup>2</sup>、橋本 卓也<sup>2</sup>、上野 克樹<sup>2</sup>、岸野 恵<sup>2</sup>、前林 憲誠<sup>3</sup>、林田 和久<sup>2</sup>、  
松永 寿人<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>兵庫医科大学病院臨床心理部、<sup>2</sup>兵庫医科大学精神科神経科学講座

3-P71-2 ブリーフセラピーと動作法の併用面接が有効であった2症例

○土居 照代、小田桐 栄佳、鈴木 清人、石田 留生、澤谷 篤、下田 健吾、木村 真人  
日本医科大学千葉北総病院メンタルヘルス科

3-P71-3 当院におけるひきこもり OT の取り組み

○阿部 亮  
関病院医局



3-P71-4 22q11.2欠失症候群メンタルヘルス専門外来

○熊倉 陽介<sup>1,2</sup>、濱田 純子<sup>2</sup>、小川 知子<sup>3</sup>、笠井 清登<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東京大学医学部大学院医学系研究科精神保健学分野、<sup>2</sup>東京大学医学部附属病院精神神経科、

<sup>3</sup>東京大学医学部附属病院こころの発達診療部

3-P71-5 リワークによるうつ病患者のストレスコーピングの変化

○油谷 元規、堤 康彦、増田 郁、石井 朋美、星野 陽子、眞柄 正隆

けやきの森病院

12:30~13:18 一般演題 (ポスター) 72

睡眠障害・その他

司会：須貝 拓朗 新潟大学医歯学総合病院精神医学教室

3-P72-1 高度救命救急センターと精神科の共同した自殺未遂者支援事業からの自殺未遂者実態(ハブ&スポークモデル)

○池田 俊一郎<sup>1</sup>、中森 靖<sup>2</sup>、松田 達也<sup>1</sup>、山田 妃沙子<sup>2</sup>、和田 大樹<sup>2</sup>、住田 緒理依<sup>2</sup>、織田 裕行<sup>1</sup>、木下 利彦<sup>1</sup>

<sup>1</sup>関西医科大学精神神経科学教室、<sup>2</sup>関西医科大学総合医療センター

3-P72-2 クロザピン内服中におけるアレルギー反応について

○小野 信<sup>1,2</sup>、鈴木 雄太郎<sup>3</sup>、福井 直樹<sup>3</sup>、須貝 拓朗<sup>3</sup>、渡邊 純蔵<sup>3</sup>、常山 暢人<sup>3</sup>、田尻 美寿々<sup>3</sup>、染矢 俊幸<sup>3</sup>

<sup>1</sup>新潟県立精神医療センター、<sup>2</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科地域精神医療学寄附講座、

<sup>3</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

3-P72-3 活動スケジュール法による行動活性化が奏功した慢性疼痛の一例

○坂上 仁、橘 輝、松木 晴香、染矢 俊幸

新潟大学医歯学総合病院精神科

3-P72-4 措置入院となった一例と、退院後の生活の包括的なサポートについて

○長谷川 宝史、松田 ひろし、吉濱 淳、野村 健太郎、赤羽 学爾

柏崎厚生病院精神科

3-P72-5 個別プログラムを施行したアルコールケアパック入院患者の予後調査

○山田 真理、常岡 俊昭、杉田 秀太郎、川合 秀明、岩見 有里子、長塚 雄大、花輪 洋一、太田 晴久、高塩 理、岩波 明

昭和大学烏山病院精神科